



10月



令和2年(2020年)第42週 2020年10月12日(月)~2020年10月18日(日)

# 熊本市 感染症発生動向調査 速報

厚生労働省 「ダニ媒介感染症」



42週は、ダニ媒介感染症の重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の報告が1件ありました。SFTSはSFTSウイルスを保有するマダニに咬まれることで感染するといわれ、予防策としてはマダニに咬まれないようにすることが重要です。特にマダニの活動が盛んな春から秋にかけては、屋外で作業される際は気を付けましょう。

## ●重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

主にSFTSウイルスを保有するマダニに刺咬されることで感染します。**・潜伏期間…5~14日**・**症状…発熱、消化器症状(食欲不振、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛)が出現します。時に頭痛、筋肉痛、神経症状(意識障害、けいれん、昏睡)、リンパ節腫脹、呼吸不全症状、出血症状(歯肉出血、紫斑、下血)が出現します。致命率は10~30%程度です。**・**治療…対症療法**

## ◆予防法は?

・草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボン(シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる)、足を完全に覆う靴(サンダル等は避ける)、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大事です。服は、明るい色のもの(マダニを目視で確認しやすい)がお勧めです。DEET(ディート)やイカリジンという成分を含む虫除け剤の中には服の上から用いるタイプがあり、補助的な効果があると言われています。また、屋外活動後は入浴し、マダニに刺されていないか確認して下さい。特に、首、耳、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏などがポイントです。マダニに吸血された場合には、皮膚科などを受診してマダニを除去してもらって下さい。

ダニ媒介感染症国内報告数

疾病名	重症熱性血小板減少症候群			つつが虫病			日本紅斑熱		
	熊本市	熊本県	全国	熊本市	熊本県	全国	熊本市	熊本県	全国
2013年(H25年)	0	4	48	0	9	436	1	20	175
2014年(H26年)	0	1	61	2	9	344	2	18	241
2015年(H27年)	0	1	60	1	11	320	1	11	215
2016年(H28年)	0	1	60	2	20	505	0	19	277
2017年(H29年)	0	1	90	2	10	447	1	14	337
2018年(H30年)	1	5	77	3	10	456	0	7	305
2019年(R元年)	0	2	101	2	11	404	1	6	318
2020年(R2年10.18現在)	1	3	66	0	0	116	3	14	348

マダニに咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、医療機関を受診した際にマダニに咬まれた可能性があることを伝えてください。野生動物は、どのような病原体を保有しているかわかりませんので、野生動物との接触は避けてください。

期 間	疾患名	疾患の増減	2020年 41週		2020年 42週	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
			10/5~10/11		10/12~10/18(最新)	
	インフルエンザ	→	0	0.00	0	0.00
	RSウイルス感染症	→	0	0.00	0	0.00
	咽頭結膜熱(プール熱)	→	1	0.06	1	0.06
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	12	0.75	6	0.38
	感染性胃腸炎	→	21	1.31	18	1.13
	水痘(みずぼうそう)	→	4	0.25	1	0.06
	手足口病	→	6	0.38	9	0.56
	伝染性紅斑(りんご病)	→	0	0.00	0	0.00
	突発性発しん	→	9	0.56	12	0.75
	ヘルパンギーナ	→	1	0.06	0	0.00
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	0	0.00	0	0.00
	急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	→	4	0.80	5	1.00
	細菌性髄膜炎	→	1	0.20	0	0.00
	無菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎	→	0	0.00	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	0	0.00	0	0.00